

令和 6年 1月25日

栃木ローターアクトクラブ 様

栃木県赤十字血液センター
所長 永井 正



献血実施のお願い

平素より赤十字献血事業の推進に関しまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、栃木県内における輸血用血液の需要を満たすには、毎日 300 名程の献血者のご協力が必要となっております。また、医療機関からの輸血用血液の要請は輸血副作用の可能性が少ない 400mL の血液製剤に推移しております。

そのため、血液の適正使用を医療機関に周知徹底するとともに、献血者の皆様におかれましても 400mL 献血をお願いさせていただき、国内で使用する血液の確保に鋭意努めているところです。

つきましては、ご多用中大変恐縮ですが、貴団体におかれましても下記により献血のご協力をいただきたく、特段のご配慮を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和 6年 2月23日 (金・祝) 10時00分～16時00分
2. 場 所 ベルモール
3. 主 催 栃木ローターアクトクラブ
4. お問合せ先 血液センター献血推進課 (小林) TEL 028-659-0114

090-8649-5681

献血前のご確認

※下記に該当する方は、受付職員にご相談ください。

- ① 3日以内に薬を飲まれた、注射をされた方。
- ② 3日以内に歯科治療をされた方（歯石除去も含む）。
- ③ 直近の食事を2食抜いた方、睡眠時間が4時間以内の方。
- ④ 海外から帰国後4週間以内の方。
- ⑤ 今までに輸血や臓器移植を受けた方。
- ⑥ 英国に昭和55年（1980年）～平成8年（1996年）までに通算1ヶ月（31日）以上の滞在歴のある方。

—以下に該当する方は献血をご遠慮願います—

(1) 体調が悪い方・現在、激しい嘔吐や下痢の方。

(2) 今までに大きな病気をした方。

※原則としてB型肝炎、がん、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん。

※治療後一定期間経過後献血可能な場合があります。ご相談ください。

(3) 下記のいずれかに該当し、中南米地域(カリブ海諸国は除く)を離れてから6ヵ月以上経過していない方。

(a) 中南米諸国で生まれた、または育った。

(b) 母親または母方の祖母が中南米諸国で生まれた、または育った。

(c) 中南米諸国に連続して4週間以上滞在、または居住したことがある。

(4) 6ヵ月以内にピアス・刺青(タトゥー)をした方。

※ピアスはピアッサー、または医療機関であけた方は1ヶ月過ぎていれば献血可能です。

(5) B型やC型の肝炎ウイルス保有者(キャリア)と言われた方。

(6) 梅毒などの性病、マラリアにかかったことがある方。

(7) エイズの検査が目的の方。

(8) 6ヵ月以内に次のいずれかに該当することがある方。

① 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった方。

② 男性どうしでの性的接触があった方。

③ 出産、流産があった方。

④ 開胸、開腹、開頭など大手術を受けた方。開放性骨折をした方。

(9) 現在妊娠中、または授乳中の方。

※出産後、授乳中の女性は献血できません。

※授乳の状況やお子さまの年齢により可能な場合もあります。ご相談ください。



その他、当日の医師の判断になりますので、献血会場までお越しください。

献血！ できる薬・できない薬

お薬には、種類や服用期間によって献血できない場合があります。

(※ジェネリック医薬品も含まれます)

献血の際には「お薬の名前」が分かるようにしてご来場ください。

下記には主なお薬を示しています。

詳しくは 献血健診医師 または 受付職員 におたずねください。

1. 当日服用していても献血できるお薬

(ただし献血者の健康状態を考慮し、献血できない場合もあります)

- 市販のビタミン剤・栄養ドリンク剤 (リポビタン等)
- ミネラル剤 (鉄剤による貧血治療中を除きます)
- 漢方薬 (服用目的によりできない場合があります)
- **抗アレルギー薬**
市販の花粉症・アレルギー性鼻炎薬 (アレグラ、アレジオン、アレロック、クラリチン等)
オロパタジン塩酸塩、ザイザル、タリオン、ディレグラ、ピラノア、フェキソフェナジン塩酸塩、
برانلカスト、ロラタジン、ルパフィン、シダキュア・・・等
(エンペラシン・セレスタミン等ステロイドが含まれてるものは献血できない場合があります)
- **脂質異常症 (高脂血症) 治療薬**
アトル (ロス・プラ・ピタ・シン) バスタチン、クレストール、エパデール、ゼチーア・・・等
- **低用量ピル**
- **降圧剤 (複数剤の降圧剤を服用している場合でも採血可能です)**
アムロジピン、アダラート、オルメテック (サルタン)、プロプレス、カデュエット・・・等
- 整腸剤・下剤・市販緩下剤
- **高尿酸血症治療薬 (痛風の発作治療中ではご遠慮ください)**
フェブリク、アロプリノール、ユリノーム、ベンズブロマロン・・・等

2. 前日までの服用であれば献血できるお薬

- 解熱鎮痛消炎剤 (血小板採血以外で、症状がない場合や予防的服用に限る)
市販解熱鎮痛薬、イブプロフェン、バファリン、カロナール、ロキソニン、PL 顆粒・・・等
- 市販風邪薬 (血小板採血以外で、症状がない場合や予防的服用に限る)

3. 服用後3日間は献血できないお薬

- 抗生物質、および抗菌剤
- 抗ウイルス薬
- 止痢薬 (下痢止め薬)

4. 原疾患で献血できないお薬

- 抗けいれん薬
- 抗不整脈薬
- 抗甲状腺薬
- 強心薬
- 糖尿病薬 (※食事療法のみの治療は医師の判断により献血可能)
- 痛風発作治療薬 (発作治療中は不可) コルヒチン

5. その他

- チガソン (乾癬治療薬) (献血不可)
- ラエンネック、メルスモン (ヒト由来プラセンタ) (献血不可)
- プロペシア、プロスカー等 (1ヶ月献血不可)
- アボダート、アボルブ (6ヶ月献血不可)



新型コロナウイルス感染症に関するお願い

《献血前》

以下に該当される方は

「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）で陽性になったことがあり、**症状軽快から**（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）**2週間以内の方**
- ◆発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる**症状出現日から2週間以内の方**及び**症状軽快から3日以内の方**
- ◆同居されている方が新型コロナウイルス感染者に該当し、発症日から**1週間以内の方**

《献血後》

献血にご協力いただいた方へ

以下に当てはまる場合は、献血日、氏名、生年月日を、できるだけ早く血液センターにご連絡をお願いします。

- 献血後2週間以内に
 - ①「新型コロナウイルス感染症」と診断された、または新型コロナウイルス検査(PCR または抗原検査)が陽性になった。
 - ②発熱及び咳・呼吸困難などの呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状があった。
- 献血翌日までに同居されている方が新型コロナウイルス感染者または疑う症状があった。

症状の発生状況等もお聞きすることがあります。

ご連絡をいただいた方のプライバシーは確実に守られますのでご安心ください。

各血液センターお問い合わせの一覧はこちらから
<https://www.jrc.or.jp/about/search/bloodcenter>



新型コロナウイルス ワクチン接種に関するお願い

接種したワクチンの種類により、
献血をご遠慮いただく期間が異なります。

種類	メーカー	接種後以下の期間は 献血をご遠慮下さい
組換えタンパク質	ノババックス	<u>24 時間以内</u>
RNA	ファイザー	<u>48 時間以内</u>
	モデルナ	
	第一三共	
ウイルスベクター	アストラゼネカ	<u>6 週間以内</u>
	J&J (ヤンセンファーマ)	

※国内承認だけではなく、海外で使用されているワクチンを接種された方は、
献血受付時に職員にお申し出ください。

新型コロナウイルスワクチンに関する詳しい情報は下記アドレスをご確認ください。

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

(厚生労働省 HP : 「新型コロナウイルスワクチン Q&A」)



献血をすると「健康状態」が わかります!



日本赤十字社では、献血にご協力いただいた方々への感謝の気持ちとして7項目の生化学検査成績および、8項目の血球計数検査成績をお知らせしています。これらの検査成績はいずれも通知を希望された方を対象とし、おおむね3週間程度で親展（書簡の郵便）にてお知らせします。

※携帯メールクラブにご登録いただくと、携帯やパソコンから検査結果がいつでも確認できます!

■生化学検査

検査項目	説明
ALT (GPT)	肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝細胞が破壊されると血液中に流れ出すので、 急性肝炎 で最も多く上昇し、 慢性肝炎 や 脂肪肝(肥満) などでも上昇します。激しい運動の後に、一過性の上昇がみられることがあります。
γ-GTP	肝・胆道・膵・腎などに多く含まれる酵素です。上昇する疾患が 閉塞性黄疸 、 肝炎 、 アルコール性肝障害 などです。病気がなくても長期飲酒者では上昇することが多く、1か月くらい禁酒するとある程度正常化します。
TP 総蛋白	血清中には80種類以上の蛋白が含まれ、種々の機能を持ち、生命維持に大きな役割を果たします。その総量を総蛋白として測定しています。
ALB アルブミン	血清蛋白の50%以上を占めるアルブミンは、病気などで栄養が悪くなると減少するため、健康診断のスクリーニングとして大きな意味があります。
A/G アルブミン対 グロブリン比	血清蛋白はアルブミン(A)とグロブリン(G)に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にありますが、病気によってはその比率が変化(主として減少)してきます。
CHOL コレステロール	血清脂質の一つで、一般に志望の多い食事を続けていると上昇します。また、肝臓などで作られ、 肝・胆道・腎・甲状腺の病気 でその値が上下することがあります。血清コレステロールが多くなると動脈硬化を起こしやすいとされています。
GA グリコアルブミン	糖尿病 の検査の一つです。過去2週間の血糖値が低い状態が続いていると低下し、高い状態が続いていると上昇します。糖尿病では標準値より上昇します。標準値以内でも、15.6%以上の場合は注意が必要です。

■血球計数検査項目

赤血球数 (RBC)	平均赤血球ヘモグロビン量 (MCH)
ヘモグロビン量 (Hb)	平均赤血球ヘモグロビン濃度 (MCHC)
ハマトクリット値 (Ht)	白血球数 (WBC)
平均赤血球容積 (MCV)	血小板数 (PLT)

ぜひ献血を健康チェックにお役立てください★

